

四季の里

# センター便り

No. 2 令和3年5月28日(金)発行

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1  
山村留学センター「四季の里」

TEL: 0771-77-0232 FAX: 0771-77-0279

E-Mail: [miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp](mailto:miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp)

HP: <http://www.cans.zaq.ne.jp/miyamasanryu/>

## 新型コロナウイルス二年目

昨年から継続されている新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月12日からは京都府にまん延防止重点措置が適用されました。そしてその措置が解除されることなく4月25日には5月11日までの緊急事態宣言に移行され、その後緊急事態宣言も5月31日まで延期となってしまいました。ありがたい事に昨年とは異なり学校は休校にはなっていませんが、色々なイベントが中止になったり外出の自粛で思うように活動ができなくなった子供たち、いつまでたってもゴールの見えない中での日常生活となりました。そんな状況下、センターでは駆け込みでこの森に行ったり、センターの屋内・外での過ごし方を工夫して近くの同級生と走り回ったり、農業体験をさせてもらったりして楽しく元気に過ごしています。



## きのこの森



4月11日、京都府に「まん延防止重点措置」が適用される前日、あまり良いことではないのですが滑り込みで福井県大飯郡おおい町にある「きのこの森」に行ってきました。山村留学センターに来た子供たちはどの期の子供も年に数回行く、楽しさ満載の施設です。24期生1年目の4名の子供たちにとっては初のきのこの森となります。小さな子供を持った親御さんの考えは皆さん同じようで、いつもより早い時間に到着したにも関わらずたくさんの車が駐車場に止まっていた。車を降りるとみんな速足で休憩場所取りに行きます。そして子供たちは巨大滑り台「ビッグスライダー」に使う敷物を借りるため、100円玉を握って走っていたまましばらく帰ってきませんでした。初めての子も、そうでない子供も楽しい一日を過ごせたようです。



## 4月誕生日会

4月25日、4月5日で11歳になったモエの誕生日会をしました。今年度24期生になって第一回目の誕生日会となります。今回モエの希望したケーキはチョコレートケーキです。サイダー味のフルーツポンチと一緒に寮母さんにリクエストして作っていただきました。お祝いの言葉や絵を書き込んだホワイトボードの前で「ハッピーバースデー」の歌のプレゼントの後、お祝いの色紙と誕生日プレゼントを手渡してもらったモエは満面の笑みです。その後ケーキを切り分けてもらい、今までにあまり味わったことのないサイダー味のフルーツポンチと一緒に美味しく頂きました。次の誕生日会は9月の予定です。



## コロナ禍のゴールデンウィーク



5月1日、楽しいはずのゴールデンウィークも新型コロナウイルス感染症拡大の中、京都府に緊急事態宣言が適用され、あちらこちらに遊びに行くことが叶わなくなり、子供たちもがっかりです。そんな中、保護者の方々からお菓子や飲み物を送ってもらったのでゴールデンウィーク中のおやつとして配ると大喜び。また、寮母さんにはスペシャルチラシ寿司を作ってもらいみんな喜んで食べていました。子供たちは天気の良い日は宿題をしたり「スクラッチアート」をしたり家に手紙を書いたりして室内でも充実した休日を過ごしていました。

## ミニキャンプ

5月4日、今日は朝から良い天気、まずはBBQの材料の買い出しです。買い物を終えてセンターに帰ってきて、お米を洗う者・野菜を洗ってサラダを作る者・マキを割って火をおこす者・ターフを広げて会場を作る者に分かれてミニキャンプの始まりです。いつもは飯盒でご飯を炊くところですが、今回は炊飯器で炊いたご飯を自分たちでおにぎりにしました。マキ割りと火起こしはボーイスカウトの経験があるというハルトに任せましたが・・・？。おにぎりをにぎりおえ、野菜サラダやお肉と焼き野菜をターフの下に設営したテーブルに運んでBBQの始まりです。子供たちの胃袋は元気いっぱい、指導員が焼いたお肉も大き目のボールで作った野菜サラダも全部きれいに食べました。



## お好み焼きとおにぎり



5月5日、今日はこどもの日です。こどもの日に自分たちの食べたいものは自分たちでということでお好み焼きとおにぎりを作りました。大阪から来ているモエとユメカとシュホはさすがに粉ものの扱いは慣れたものでキャベツを刻む手際もなかなかのものです。キャベツを切るのが危なっかしい人もいましたが、みんなで協力しておいしいお好み焼きが出来上がりました。

## 母の日

5月10日、今日は母の日。日頃お世話になっている千代野母さんにゴールデンウィークの休日を利用して色紙と折り紙でカーネーションを作ってプレゼントしました。カーネーションをつくるのが少し難しかったようですがみんな頑張って完成させました。何かにつけて人(親)にしてもらうのが当たり前になりがちな子供たち、いつまでも感謝の気持ちを忘れない子供に育ってほしいものです。



## お母さんの一人言

まだ5月だというのにもう梅雨入りしたとか、一体どうなっているのでしょうか。そしてコロナ感染者は減ることなく、気分が晴れません。ルールを守って静かに生活するしかないのか？と思われまます。さてそんな中、センターの子供達はどうかこの暮らしに慣れて来たようで賑やかに毎日過ごしています。慌ただしい気候の変化などに負けず、元気で頑張っていると思います。